

浅海定線調査結果（令和元年7月3日）

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所

1. 観測結果

| | | 令和元年7月 | 平年値との差 (平年値) | 昨年7月との差 (昨年7月観測値) |
|-------------|----|--------|-------------------|----------------------|
| 水温 (°C) | 表層 | 23.7 | - 0.2 (23.9) | - 0.9 (24.6) |
| | 底層 | 22.5 | + 1.1 (21.4) | - 0.8 (23.3) |
| 塩分 (PSU) | 表層 | 32.40 | + 2.26 (30.14) | + 2.62 (29.78) |
| | 底層 | 32.91 | + 0.78 (32.13) | + 1.54 (31.37) |
| 透明度 (m) | | 5.2 | + 0.8 (4.4) | + 2.5 (2.7) |

※ 観測値 : 周防灘12定点の平均値を表しています。
※ 平年値 : 過去30年分の同月平均値を表しています。

2. 概況

(1) 水温

・表層は平年並、底層はやや高めでした。

(2) 塩分

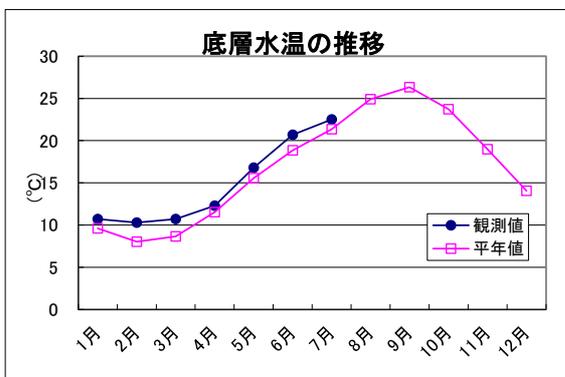
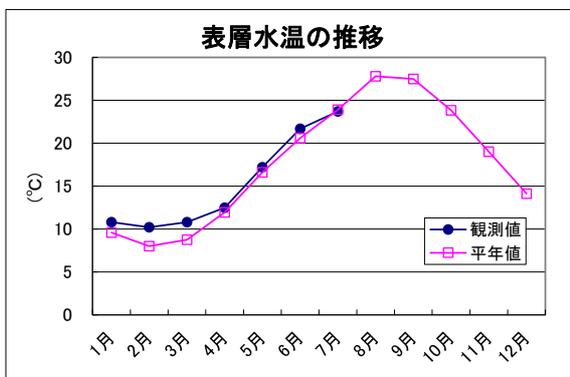
・表層、底層ともにやや高めでした。

(3) 透明度

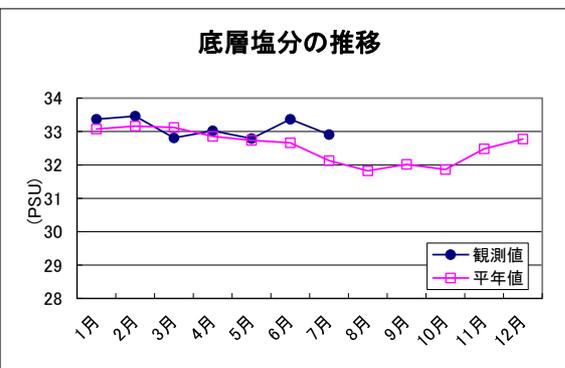
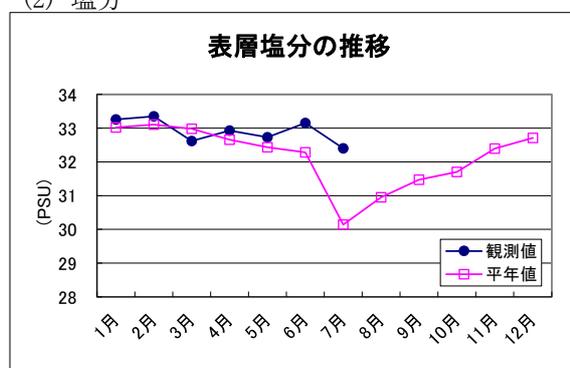
・透明度はやや高めでした。

調査結果(グラフ)

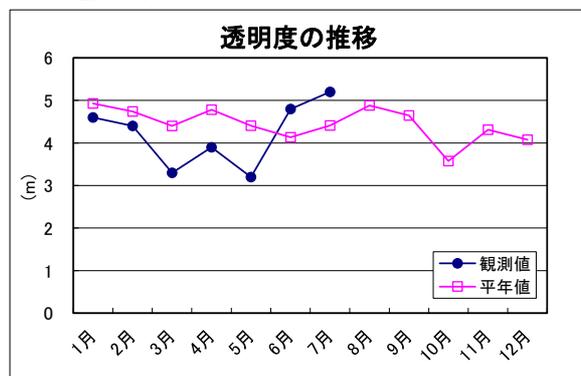
(1) 水温



(2) 塩分



(3) 透明度



3. その他

- ・ 調査区域内で赤潮による海面の変色や貧酸素の海域は見られませんでした。
- ・ 沿岸域の調査点の表層と5m層の海水中に麻痺性貝毒プランクトン、および下痢性貝毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・ 魚類のへい死を引き起こす有害プランクトンのシャトネラが増殖しています。(詳細は赤潮・貧酸素情報(1)を参照のこと。)
- ・ ミズクラゲ人工島西側など多くみられます。